

## あさかじゃ Vol.3

アンニョンハセヨ！

韓国水原市（スウォン）滞在中の湯浅です。

今回は、Vol.1で少し触れていた全国市道知事協議会「GALOK」とGALOKが主催する研修「K2Hプログラム」について紹介します。

### 全国市道知事協議会「GALOK」

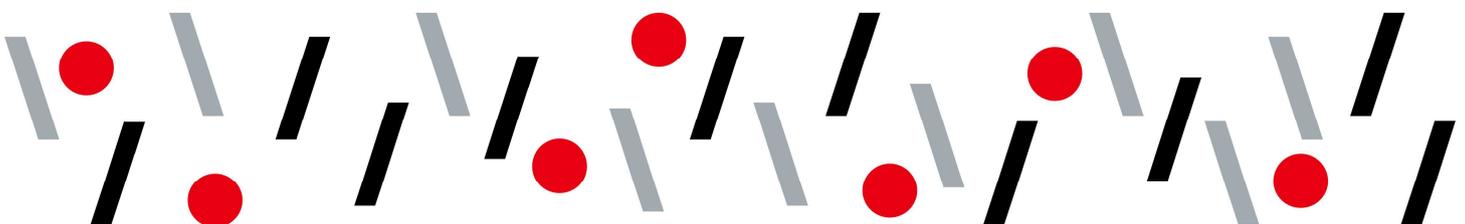
韓国の17の広域自治体（市と道）の知事で構成される協議会で、地方分権の促進や地方政府の共同事業の推進などを担っています。

### 外国地方公務員招請研修「K2Hプログラム」

GALOKが行う業務の一つがK2Hプログラムです。韓国の自治体と交流中の公務員、又は交流を希望する海外自治体の公務員を対象とした研修事業で、国内外の自治体単位での国際交流・協力を促進する重要なプラットフォームとなり、今後両地域間の国際交流の中心的役割を担う人材を育成することを目的としています。

K2Hプログラムの期間は4月から始まり6か月間です。4月にソウルで行われた10日間の研修後、私たちは各自治体に配属され働いていますが、その後も数回研修が行われてきました。

9月に行われる修了式で全てのプログラムが終了になります。



さて、研修内容は、座学研修や施設訪問、文化体験等があります。これまで座学研修では、韓国滞在に必要な知識や、韓国語の授業、韓国の歴史等を学びました。

少し驚いたのが、大学や専門家の先生等だけではなく、SNS等で活動されている方々も講師として来ていただいていたことです。公務員向けの研修として、日本ではあまり考えられないような柔軟で新鮮な発想だと感じました！

座学研修のうち、特に参加者全員が毎回楽しく受講していた印象があるのは韓国語の授業です。簡単なフレーズを発表しあったり、韓国語の曲に乗せて発音を練習したりと、盛り上がっていました。研修自体も参加者同士のコミュニケーションも基本的に英語の中、わたしは英語が得意ではなく、他の参加者には助けられることが多かったのですが、韓国語の授業では他の参加者に発音などを教えることができ嬉しかったです。その経験が他国の参加者とのコミュニケーションを取る上で自信となりました！



韓国語の授業全日程終了後にヘイリー先生と参加者で撮った集合写真



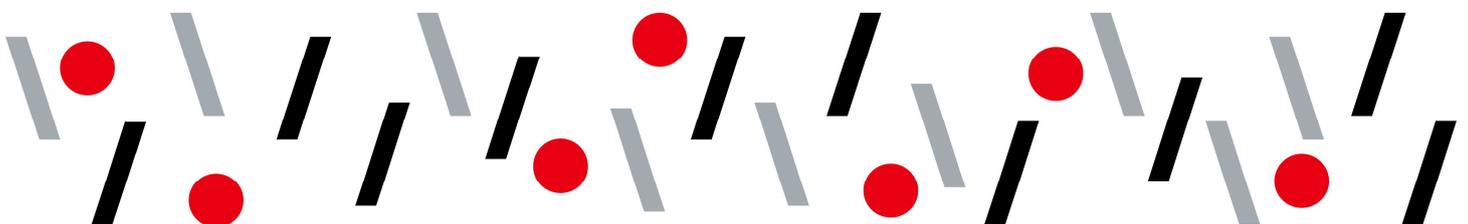
そして、施設訪問や文化体験では本当に様々な場所に行かせていただきました。全部紹介したいところですが、特に印象に残っている場所をご紹介します。

## ☆ソウル市庁舎

一面ガラス張りのモダンでユニークなデザインが特徴の現在の庁舎は2012年8月に開館しました。ガラス張りの庁舎は、ただデザイン性を求めているだけではなく、太陽光や太陽熱を取り込めるようになっています。さらに地熱発電も導入されており、再生可能エネルギーの利用率は28.3%にもなるようです。庁舎内の照明や冷暖房はこれらのエネルギーを利用しているとのことで、環境配慮の意図がありながら、訪れる人たちが目を引くようなデザイン性のある庁舎にとっても関心を持ちました。

また、庁舎に入って真っ先に目を引くのが、垂直庭園と呼ばれている壁面です。1～7階部分の内部に造成されたこの庭園は、全て本物の植物で、8か月かけて約7万本が植えられているとのこと。この植物も、室内の汚染物質等を取り除き、温度や湿度を調整する環境的な役割があるようです。

内部にはカフェ等もあり、市民はもちろん観光客も訪れることができます。アートな空間として楽しむこともできるので、是非興味のある方は訪れていただきたい場所です！





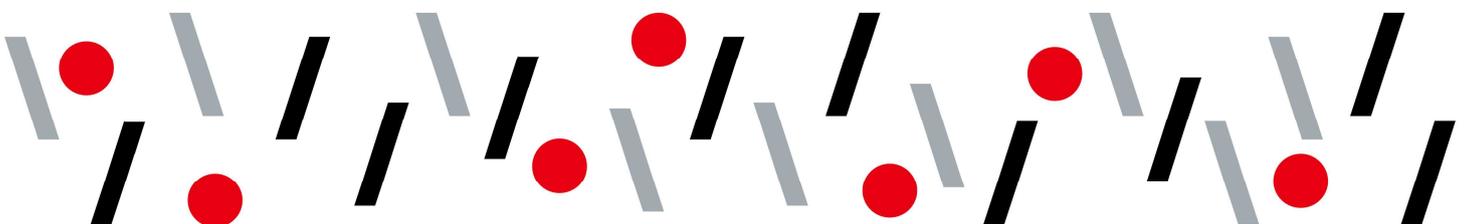
ガラス張りの窓から入る太陽光が中の庭園にも注がれるようになっています



## ☆インチョンスマートシティ

韓国にはCCTV（防犯カメラ、監視カメラ）が街中や公共施設、繁華街、バスの中等至る所にあります。これらの管制センターが国内にはいくつもあり、私たちはその中でインチョンスマートシティを訪れて管制センターの様子を見学させていただきました。

管制センター内には、室内の前方に大きなモニターがあり、よく見るといくつものCCTV映像がリアルタイムで写っていました。その



モニターに向かうように職員たちが座り、リアルタイムで映像を確認していました。

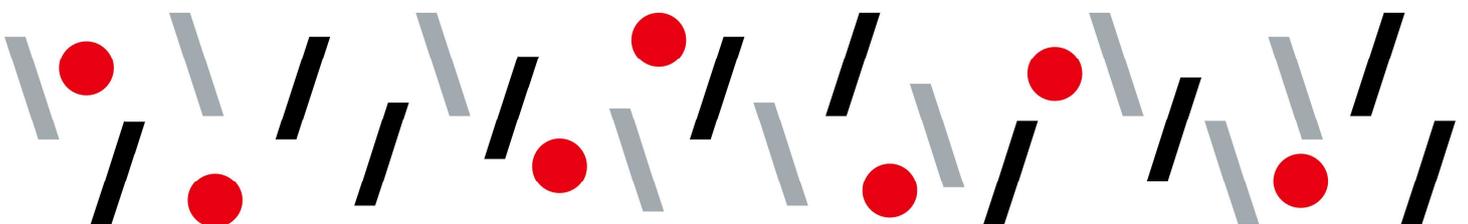
(プライバシー等の関係で写真は撮ることができませんでした。)  
犯罪予防や交通管理を目的として設置しており、警察や消防とも連携しているため、事件・事故・災害等が発生した際に迅速な対応が取れるような体制となっています。

日本は個人の自由やプライバシー保護の意識が強く、監視社会への懸念があるため、同じことを日本が全国規模で行うことは現状難しいだろうと感じました。

さて、K2Hプログラムも残すは9月の修了式のみとなりました！  
私は、このプログラム終了後も来年3月まで水原市で勤務しますが、プログラム終了とともに、韓国派遣期間が終了となり自分の国へ戻る参加者も多くいます。

このプログラムに参加して出会った様々な国の参加者と会えなくなることは残念ですが、9月の修了式は参加者全員揃っての時間を楽しみたいです。

修了式の様子も機会があれば、あさかじゃで紹介したいと思います。  
それではト マンナヨ ✨ ✨ (また会いましょう)



# ASAHIKAWA CITY



4月に訪れたロボットプラステストフィールド(左)とパンギョテクノバレー(右)



最近では、7月にテグのチメクフェスティバルに招待してもらいました！

